

第8回山形まるごとマラソン 主な感染症対策

ボランティアスタッフの皆さまが安心して活動いただけるよう、以下の感染症対策を行います。
なお、感染症対策は、今後の感染症の状況に応じて関係機関と協議を進めながら実施します。

1 大会規模を縮小します

- 競技種目はハーフマラソンに限定し、定員を4,000名から2,500名へ縮小します。
- 開会式や表彰式、飲食の提供など、混雑が予想されるイベントは中止します。

2 フィジカル・ディスタンスを確保します

- スタート時やコース走行中の混雑を緩和するため、スタート箇所を2箇所分散し、2段階のウェーブスタート(時差スタート)を実施します。
- メイン会場(市総合スポーツセンター)はゾーニングにより参加者及び関係者以外の入場を禁止します。
- メイン会場は密を防止したレイアウト・運営を企画します。
- 参加賞の受け渡しは大会前日より受け付けます。
- 大会当日の記録証はWEB発行に変更します。

3 参加者・関係者の体調管理を徹底します

- 検温所を設け、大会当日は参加者及び関係者全員の検温を実施します。
- 全ての参加者は「健康チェックシート」による大会2週間前からの体調管理を行い、大会当日のチェックシート提出を義務付けます。

4 手指消毒・服装等による予防を徹底します

- 大会関係者にはマスクの着用を義務付け、参加者に接近するスタッフにはフェイスシールドや手袋を配布します。
- アルコール消毒液を各所に配置し、手指消毒の徹底を図ります。

5 その他

- 感染症の状況に応じて、沿道観戦自粛の要請を大会WEBサイト、SNS、市報等で行います。
また、大会当日においてもコース整理員からの沿道への呼びかけ、アナウンスを徹底します。

